

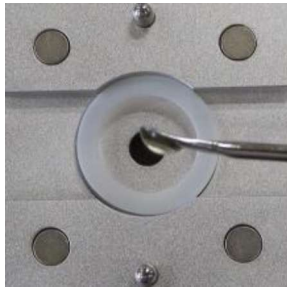
Mag Gallery

MagCELLを利用したハチミツの近赤外スペクトル測定

MagCELLは赤外分光分析用の簡易型組み立てセルです。固定セルに入れることが困難な高粘度試料を簡便に測定することができます。水の影響を受けない窓板を選択することで、水分のスペクトル測定をすることも可能です。また粘性が高い試料では簡易的ですが、一定の強度再現性が得られます。



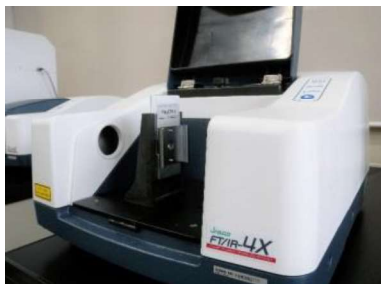
- ①窓板をセットし、スペーサーを置いた後試料を塗る



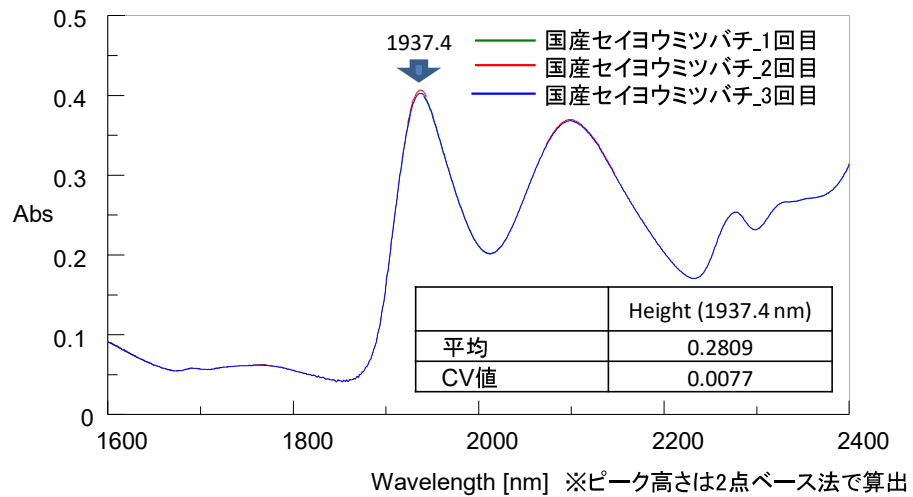
- ②もう一枚の窓板を重ね、カバープレートで固定



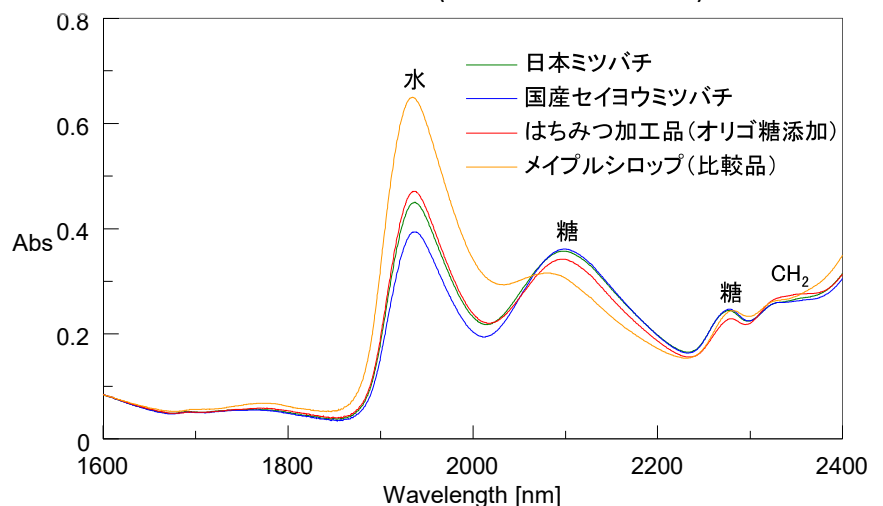
- ③試料室にセットし、測定する



3回塗布して強度再現性の確認(1600 nmでオフセット)



サンプル間の比較 (1600 nmでオフセット)



Master's Memo

- 縦軸の精度を要求される場合は、注目している吸収が飽和しないセル長を検討の上、固定セルでの測定をお試しください。

Condition

透過法(窓板: BaF₂, BKG: BaF₂), 日本分光製FTIR使用
 スペーサーの厚みは0.2 mm
 ※BKGはBaF₂窓板1枚で測定